

**令和4年度 群馬県がん対策推進協議会がん検診精度管理部会
(生活習慣病検診等管理指導協議会)各部会協議概要**

胃・大腸がん部会	
日 時	令和5年1月31日(火)18:30~19:40
場 所	Web 開催(県庁14階 141会議室/ZOOM)
議 題	1 胃・大腸がん検診精度管理調査結果 2 胃・大腸がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況
協 議 概 要	
<p>1 令和4年度検診精度管理調査結果について</p> <p>1)がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について</p> <p>《胃がん検診・大腸がん検診》</p> <p>胃がん検診・大腸がん検診のチェックリスト遵守状況調査は、ともに以下の結果だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診、個別検診、胃内視鏡検診すべてで指導対象とする評価「C」以下の市町村はない。 ・非遵守項目がある集団検診機関には、非遵守項目の減少へ向けて、改善をお願いする。 ・調査結果を公表することに同意を得られなかった集団検診機関には、今後同意を得られるようお願いする。 <p>2)令和2年度精度指標調査について</p> <p>《胃がん検診》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診の精検受診率 70%未満の南牧村には、改善をお願いする。 ・胃内視鏡検診の精検受診率 70%未満の東吾妻町には、改善をお願いする。 ・胃内視鏡検診の目標値や許容値は現時点で作成されていないため、それまでの間、胃部 X 線検査によるがん検診の目標値・許容値を引き続き活用する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響から受診者数が減少し、多くの市町村のがん発見率や陽性反応適中度が参考値となっている。このような場合、単年度集計ではなく3年分等まとまった期間での集計・評価が望ましい。 <p>《大腸がん検診》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診の精検受診率 70%未満の市町村について、改善をお願いする(前橋市、藤岡市、富岡市、みどり市、榛東村、上野村、神流町、南牧村、甘楽町、草津町、玉村町)。 ・個別検診の精検受診率 70%未満の市町村について、改善をお願いする(桐生市、安中市、みなかみ町、玉村町)。 ・精検受診率 70%未満の集団検診機関について、改善をお願いする(群馬県厚生農業協同組合連合会)。 ・精検受診率のうち、未把握率が高いところは対策する必要がある。 ・前橋市では医療機関から精検の受診・未受診を記したカードが提出されるため、すべてのがん検診で未把握とならない仕組みとなっている(未把握率 0%)。未受診者へは医療機関から勧奨後、応じない場合に通知にて再勧奨を行っている。 ・桐生市では未受診者調査を実施し、ある時点で結果が届いていない方に対して、医療機関にお願いし受診勧奨してもらっている。 <p>2 令和4年度市町村がん検診実施状況調査について</p> <p>《胃がん検診》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診は、50歳以上の方に2年に1回行うよう指針に定められている(胃部 X 線検査は当分の間40歳以上の方に年1回実施しても差し支えない。)ため、指針に基づかない検診を実施している市町村へ、指針に沿った実施をお願いする。 ・ピロリ菌感染者は高齢化しており、胃がんも高齢の方に多くなってきている。今後、胃内視鏡検診の対象年齢が下がることは考えにくい。 <p>《大腸がん検診》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての市町村で指針どおりに実施している。 	

肺がん部会

日時	令和5年1月26日(木)18:30~19:30
場所	Web 開催(県庁14階 141会議室/ZOOM)
議題	1 肺がん検診精度管理調査結果 2 肺がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況

協議概要

1 令和4年度肺がん検診精度管理調査結果について

1)がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について

- ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村はない。
- ・調査結果の公表に同意を得られた集団検診機関では、指導対象とする評価「B」以下の検診機関はない。
- ・調査結果を公表することに同意を得られなかった集団検診機関には、今後同意を得られるようお願いする。

2)令和2年度肺がん検診精度指標調査について

- ・集団検診の精検受診率 70%未満の市町村について、改善をお願いする(吉岡町、孺恋村、川場村、明和町)。
- ・明和町では、新型コロナウイルス感染症の影響で集団検診の実施が年明け1月にずれてしまったため、県への報告に間に合わなかった実態がある。現在、県への報告時よりも数値は上昇している。
- ・精検受診率で未受診率・未把握率が高い市町村に対し、標準偏差からどの程度外れているのか、評価項目と併せて周知すると良い。

2 令和4年度市町村肺がん検診実施状況調査について

- ・肺がん検診は胸部エックス線検査を40歳以上の男女に実施することとしている。また50歳以上の重喫煙者に対しては喀痰細胞診も実施することとしている。
- ・邑楽町は胸部エックス線検査のみの実施であり、指針どおり、50歳以上の重喫煙者に対する喀痰細胞診を実施するよう改善いただきたい。
- ・大泉町は喀痰細胞診を希望者にも実施しているため、指針どおりの対象へ実施するよう改善いただきたい。

3 その他

《肺がん検診へのCT検査導入について》

市町村の肺がん検診にCT検査を導入したらどうかという話が過去の肺がん部会で話し合われたことがあった経緯から、このことについて委員間の意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・重喫煙者に対してのみCT検査を導入したらどうか。県で補助金を出すなどして実施し、成果を国に報告することで施策化を目指すこともできるのではないか。
- ・ヘリカルCTはずっと議論されているが、コロナの流行があったこともあり、予算をつけることが厳しいのではないか。
- ・理想としてCTの方が良いというはあるが、実際にやるとなったときに、診療と検診兼用でCTを動かすこと、更にそれをどこで誰が読影するのかということを考えると、現状難しいと思われる。

《検診機関の症例検討会等の実施状況について》

読影医は、肺がん検診に関する症例検討会等に年1回以上参加することが必須要件とされている。検診機関等には症例検討会を開催する責務があり、行政は実施状況を調査する必要があるため、市町村での把握状況を調査した。35市町村に照会し、29市町村から回答を得た。

- ・委託先検診機関が症例検討会を実施していることを把握している市町村は19市町村あり、そのうち13市町村が検討内容についても把握していた。また、読影医が症例検討会や読影講習会に参加していることを把握している市町村は18市町村だった。
- ・症例検討会では、検診時の画像と手術後の状況の確認・レントゲン写真を用いた所見の説明と討論・がん発見者の今年度と前年度写真の比較等を行っている。
- ・検診機関に対して、症例検討会や読影講習会の実施について周知すると良い。

乳がん部会

日時	令和4年12月27日(火)18:30~19:45
場所	Web開催(県庁14階 141会議室/ZOOM)
議題	1 乳がん検診精度管理調査結果 2 乳がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況

協議概要

1 令和4年度乳がん検診精度管理調査結果について

1)がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について

- ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村および評価「B」以下の検診機関はない。
- ・検診実施機関用チェックリストの改定により評価項目が増えたが、評価基準は変更しない。

2)令和2年度乳がん検診精度指標調査について

(1)要精検率について

- ・伊勢崎市と玉村町は個別検診での要精検率が高めである。高くなっている理由を明らかにし、医療機関/医師ごとの要精検率のデータを返したり、二重読影の最終評価方法を変えたりする等の対応について検討をお願いする。

(2)精検受診率について

- ・集団検診の精検受診率 80%未満の東吾妻町には、改善をお願いする。
- ・個別検診の精検受診率 80%未満の草津町には、改善をお願いする。検診後に精検受診の有無を把握することは原則なので、早急に対応いただきたい。

(3)がん発見率について

- ・がん発見率は、あまり低くてもがんの見逃しがいないか等の検診精度が問題となるし、高いと本来受診すべき有症状者が検診に来ている可能性がある。例えば太田市の間診票は症状のチェックリストがあり、チェックがついた有症状者は検診ではなく受診を案内している。がん発見率が高い渋川市、甘楽町、玉村町等は参考にしてはどうか。
- ・検診には限界があり、有症状の方にマンモグラフィ検診のみを行った場合、乳がんを1割から1割5分程度見逃すことがあり得る。そのような観点からも、検診と一般診療を分けて考えることが重要である。症状を自覚したときの相談窓口や、問診で症状を訴える方に対して精密検査可能な医療機関の紹介等ができるとう良い。

2 令和4年度市町村乳がん検診実施状況調査について

(1)対象者・受診間隔について

- ・乳がん検診は、40歳以上の女性に2年に1回行うよう指針に定められている。40歳未満を対象としている沼田市、2年に1回の検診機会が設けられていない藤岡市・下仁田町、検診機会が毎年ある川場村・昭和村には改善をお願いする。
- ・検診は利益・不利益両方あり、毎年やることで一般住民に不利益を被らせる。隔年が適切だということを理解してもらう必要がある。

(2)マンモグラフィとエコーの併用について

- ・桐生市のエコー対象は、今臨床試験が行われている40~49歳の希望者となっているが、エコーを加えることの利益・不利益についての説明を付け加えているかの確認が必要。
- ・大泉町のエコー対象は、40歳以上の方全て(臨床試験が行われていない50歳以上も含む。)になっている。利益・不利益の説明に加え、エコーの有用性が証明されない50歳以上の方への検診について、再考を促す。

(3)その他

- ・安中市では視触診のみを実施している検診施設があるが、マンモグラフィを必ず実施しているのであれば許容範囲である。

3 その他

- ・高濃度乳房については、受診者に伝えても良いことになっている。各市町村で通知の是非について考えていただき、乳がん検診の結果等と共に受診者へ返しても良いのではないかと併せて、プレストアウェアネスについても付け加えてはどうか。

子宮がん部会

日時	令和5年1月12日(木)18:30~19:45
場所	Web 開催(県庁14階 141会議室/ZOOM)
議題	1 子宮がん検診精度管理調査結果 2 子宮がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況

協議概要

1 令和4年度子宮がん検診精度管理調査結果について

1)がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について

- ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村および評価「B」以下の検診機関はない。

2)令和2年度子宮がん検診精度指標調査について

(1)精検受診率について

- ・集団検診の精検受診率 70%未満の市町村について、改善をお願いする(渋川市、富岡市、上野村、中之条町、東吾妻町、千代田町)。
- ・個別検診の精検受診率 70%未満の市町村について、改善をお願いする(長野原町、草津町、東吾妻町)。
- ・精検受診率 70%未満の集団検診機関について、改善をお願いする(原町赤十字病院)。

2 令和4年度市町村子宮がん検診実施状況調査について

(1)受診間隔について

- ・子宮がん検診は、20歳以上の女性に2年に1回行うよう指針には定められている。指針通り2年に1回とするよう指導する意見と、新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が下がっている状況から、一律で2年に1回とする指導は慎重に検討するべきとする意見が出された。これは、過去に指針改正に合わせて受診間隔を2年に1回に変更したところ、受診率が下がった経緯があることによるもの。指導の是非について、今後も検討していくこととなった。
- ・2年に1回の検診機会が設けられていない藤岡市・下仁田町・邑楽町には改善をお願いする。

(2)がん検診の実施内容について

①子宮体がん検診

- ・昨年の子宮がん部会のときに、高崎市の子宮体がん検診について、保険診療へ促していく方向で検討するよう話が出た。各検診実施機関へ、継続してその旨ご案内いただきたい。

②HPV 検診(細胞診併用)

- ・昨年同様、県内で4つの自治体(高崎市、館林市、上野村、邑楽町)が細胞診と併用で実施。HPV 検診は国の指針としてまだ定められておらず、精度管理の問題(疑陽性や精検回数が増えること・結果の解釈や対象者の管理が複雑になること等)から実施しない方が良いとする意見と、がん化する前に発見できる HPV 検診は実施した方が良いとする意見が出された。HPV 検診の指導の是非について、今後も検討をしていくこととなった。
- ・栃木県小山市では、数年前から HPV 併用検診を実施している。小山市の取組状況等を調査の上、次年度の部会で検討を進める。

～主な意見～

- ・国の指針では死亡率減少効果が認められたものを採用しているため、現時点で死亡率減少効果が明らかとなっていない検診を採用することについて慎重に考えた方が良い。
- ・個人として受診することは何ら問題ないが、市町村として公費を投入して実施するのはいかがか。
- ・国の指針に従うだけでなく、どういう方法であれば実施できるかを部会で考えることも大事。HPV 併用検診を実施するのであれば、HPV(-)のときは細胞診を5年程度実施しなくて良いとする方法もある。
- ・沖縄市では、進行了状態でがんが見つかる方が多かった時期があり、クーポン等を配布して HPV と細胞診の併用検診を実施する事業を行った。検診の大切さを啓発したが、一番の問題とされたのは、受診率が上がらないこと。受診率が低すぎることで若年層が受診しないことが大きな問題としてあるので、そこに焦点をあてて対策していけると良い。

2 その他

- ・HPV 検診の小山市の取組状況等のほか、受診間隔が受診率に与える影響を確認し、次年度に報告・討議したい。